



ちょうえいざ ぎんしょうえ

長栄座伝承会 むすひ

三年計画公演、いよいよ完結！

東西を結び、刻を結び、乾坤を結ぶ

明治時代に滋賀県北部の長浜市に創建された芝居小屋を再現。一流の古典芸能実演家が「むすひ（結び）」の名のもとに集い、滋賀の魅力たっぷりの三演目を披露。

会場 滋賀県立文化産業交流会館
イベントホール内特設舞台「長栄座」

料金 一般・三五〇〇円
青少年（24歳以下）：二〇〇〇円

令和5年 8月5日（土）
6日（日）

各日14時開演（開場は30分前）

- 第一部（尺八・十七絃）
人間国宝・野村峰山、滋賀初見参
- 第二部（箏・三弦・十七絃・尺八・琵琶・合唱・舞踊）
北陸本線金沢ゆき。「滋賀っ子」が熱演
- 第三部（箏曲・長唄・謡・ダンス）
地元の宝「竹生島」が主題の新作初演



切り絵・早川鉄兵



主催：滋賀県立文化産業交流会館
 後援：滋賀県教育委員会、彦根市、長浜市、米原市、彦根市教育委員会、長浜市教育委員会、米原市教育委員会、NHK大津放送局、びわ湖放送株式会社、朝日新聞大津総局、読売新聞大津支局、京都新聞、産経新聞社、中日新聞社、日本経済新聞社大津支局、毎日新聞大津支局、北國新聞社、公益財団法人金沢芸術創造財団、公益財団法人石川県音楽文化振興事業団、公益社団法人日本三曲協会、公益財団法人都山流尺八楽会
 協力：公益財団法人滋賀県書道協会、日本洋舞連合J.I.D.U.、長浜市立伊香具小学校
 協賛：谷口工務店

芝居小屋「長栄座」とは

「長栄座」は、明治16年（1883年）に長浜市元浜町に創建された木造建築2階建ての800名を収容する芝居小屋で、歌舞伎、落語、芝居など、幅広く興行されていました。



特設ページでは、長栄座の建込の様子を公開しています。



当館では、豊かな歴史的・文化的資源を有する湖北地域において、特色ある優れた舞台芸術を皆様にご覧いただき、伝統文化を次世代へ受け継いでいくことを目的に、平成23年（2011年）8月より期間限定で当館内に芝居小屋「長栄座」を復活させ、様々な公演を開催しています。

近江のあたらしい伝統産業展（「むすひ」公演同時開催！）

湖北地域をはじめとする滋賀の伝統的工芸品や特産品等の展示、販売を行い、「むすひ」公演を盛り上げます。

日時	8月5日（土）・6日（日） 12:30~17:00	会場	ロビー	料金	入場無料
出展	※*印は6日のみ ※非売品あり				
伝統的工芸品	丸三ハシモト（箏）〈楽器系〉、原田和装（鼻緒）〈箏タケツネ〉〈輪奈ピロード〉*、片山木工所〈ろくろ工芸品〉上丹生木彫組合〈上丹生木彫〉、杉本太鼓商〈太鼓〉、伝統工芸愛知川びん細工手まり保存会〈愛知川びん細工てまり〉、小幡人形九代目細居源悟〈小幡人形〉、信楽陶芸作家協会（はふり窯、みのる窯）〈信楽焼〉				
特産品	樹林与〈麻織物〉、北川織物工場（ファブリカ村）〈麻織物〉、縮緬アートにしほり紗布〈縮緬〉、元祖堅ぽー口本舗〈菓子〉*、（有）伊吹ハム〈ハム〉、滋賀県酒造組合〈酒〉				
その他	（一社）びわ湖の素 DMO〈観光〉、（公社）長浜観光協会〈観光〉、『湖国と文化』〈季刊誌〉、早川鉄兵〈切り絵〉				



原田和装

浴衣特典

情緒あふれる「長栄座」の舞台を、浴衣でご覧になりませんか？浴衣でご来場いただいた方には早川鉄兵のオリジナル絵ハガキセットをプレゼントいたします。



チケット予約購入

- チケット料金【全席指定・税込】
一般：3,500円 / 青少年（24歳以下）：2,000円
- チケット発売日
5月27日（土）10:00～（電話予約は13:00～）

滋賀県立文化産業交流会館
 TEL 0749-52-5111
 〈月曜日休館・祝日の場合は翌日〉
<https://biwako-arts.tstar.jp/>



滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールチケットセンター
 TEL 077-523-7136 〈窓口・現金のみ〉

■ 楽天チケット <https://ticket.rakuten.co.jp/>
 ■ イープラス <https://eplus.jp/>

■ ローソンチケット <https://1-tike.com/> Lコード：52300

会場案内・お問い合わせ先



〒521-0016 米原市下多良二丁目137
 TEL：0749-52-5111 〈月曜日休館 / 祝日の場合は翌日〉
<https://www.s-bunsan.jp/>

電車・歩	JR 新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線 米原 駅西口より徒歩約7分
車	北陸自動車道 米原 インターより約10分 名神高速道路 彦根 インターより約15分



長栄座伝承会 **むすひ** ~東西を結び、刻を結び、乾坤を結ぶ~

一流の古典芸能実演家が「むすひ（結び）」の名のもとに集い、3年計画で進めてきた「長栄座伝承会 むすひ」、いよいよ完結！今年は「琵琶湖」や「竹生島」をテーマにした、滋賀の魅力たっぷりの三演目を上演します。

第1部 **湖国神在祭** ~尺八による水鳥の二景~

滋賀県出身の人間国宝の尺八奏者・山本邦山に師事し、令和4年に人間国宝に認定された野村峰山が「長栄座」に初登場。尺八本曲の代表作と滋賀県ゆかりの曲を演奏します。

① 都山流尺八本曲「鶴の巣籠」

尺八 野村峰山

② 野村峰山作曲「鳩の海に」

尺八 野村峰山 十七絃 野村祐子

注目 POINT
「鳩の海に」の鳩は琵琶湖に多く見られるカイツブリのことで、かつて琵琶湖は「鳩の海」と呼ばれていました。



野村峰山（人間国宝）

- 注目 POINT**
- ✓ 鳴き声など鶴の生態を描写した祝祭曲と、琵琶湖の雄大さや青く澄んだ湖を表現した野村峰山作曲の現代曲をお届けします。
 - ✓ 野村祐子とのおしどり夫婦共演も話題です。

野村峰山作曲「一つのまゆから」 長浜市立伊香具小学校児童

長浜市木之本町は、蚕の絹糸から作る和楽器弦生産地として有名です。その木之本町の伊香具小学校の愛唱歌「一つのまゆから」を野村峰山が約20年前に作曲し、現在も歌い継がれ親しまれています。野村峰山が登場するこの機会に、伊香具小学校の児童が「一つのまゆから」を披露します。

幕間

第2部 **駅名連歌 まいばらはつ** ~北陸本線金沢ゆき~

当館のある米原を起点に地域の名所などを織り交ぜながら駅名を読み込んだ「旅うた」です。米原が様々な地域を結ぶ交通の要衝であることを表現する企画で、1年目は京都まで、2年目は名古屋まで、旅をしてきました。今年は、和楽器の演奏で、地元子ども達の合唱と舞踊として、各駅周辺の名勝、旧跡、話題のスポットの映像などとともに、米原から金沢までの旅へとご案内します。

作詞 くろこと 作曲 野村祐子

箏・十七絃・三弦 野村祐子 滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」

尺八 川崎貴久

合唱 長浜市少年少女合唱団「輝らりキッズ」

舞踊 古典芸能キッズワークショップ日本舞踊修了生



- 注目 POINT**
- ✓ 北陸本線は、米原から長浜などを通過して金沢まで向かいます。乗り鉄でなくても、旅に誘われること間違いなし！
 - ✓ 滋賀県の子供たちがふるさとの詞を歌い、舞を披露します。また、子ども達の各駅名の「書」も見ものです。
 - ✓ 長浜市在住の画家による米原から敦賀までの鳥瞰図作品が登場！

令和5年 8月5日 土 6日 日 各日14時開演・両日とも同内容（開場は30分前 / 17時頃終演予定）

構成・演出 中村豊 総合司会 玉田玉秀齋（講師）

第3部 **響鳴** ~日本三大弁財天と宇賀神将十五王子~ 近江竹生島大弁財天と五王子

芸事と財運の神として水の神である「弁財天」をテーマに、江ノ島、巖島そして竹生島と日本三大弁財天を1年毎に取り上げ、3年かけて作り上げる公演の集大成！いよいよ、「竹生島の大弁財天」の登場です。

作詞 千野喜資 作曲 萩岡松韻 杵屋佐吉

切り絵 早川鉄兵

唄 今藤政子
本手 萩岡松韻 萩岡松柯 萩岡由子
替手 佐々木千香能 山下紗綾
十七絃 田中奈央一
尺八 舛田路山
胡弓 川瀬露秋 長塚梨秋

三味線 杵屋佐吉 杵屋五助

唄 杵屋佐喜 杵屋和五郎

豪絃 木場大輔

笛 福原寛瑞

小鼓 福原百之助

大鼓 福原遊馬

太鼓 福原鶴之助

謡 渡邊荀之助 渡邊茂人
ダンス 中村香耶

- 注目 POINT**
- ✓ 箏曲 × 長唄 × 謡の「三方掛け合い」の演奏で魅せます。
 - ✓ 豪絃登場！和楽器のチェロ？どんな音色かは、本番までのお楽しみ！
 - ✓ 早川鉄兵の切り絵が、舞台を彩ります。

「三方掛け合い」

—箏曲 × 長唄 × 能（謡）—

今回の「響鳴」の作詞を担当した千野喜資は「三年目のテーマの竹生島は、山田流箏曲・長唄・能に既曲があるので、三派を掛け合いにすることを思いついた」と語っています。本公演ならではのユニークな三方掛け合いにご期待ください。レクチャーもあります。

